

地域再生計画（地方創生汚水処理整備交付金）事後評価調査

都道府県名	秋田県	事業実施主体	由利本荘市	地域再生計画名	由利本荘市「自然環境と調和した、優しさのある定住都市」水環境再生計画
計画期間	平成27年度～令和元年度	評価責任者	由利本荘市 企業局 下水道課長 佐藤 智樹		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		評価	最終目標値の実現状況に関する評価		
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	直近値				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	目標 1	汚水処理人口普及率	85.0%	H25	87.0%	H29	88.9%	89.7%	R1	90.3%	○	農業集落排水事業、浄化槽事業、公共下水道事業を、それぞれ整備した効果により、目標値を達成できた。
	目標 2	ケーブルテレビ加入件数	9,927件	H25	10,410件	H29	10,427件	10,900件	R1	10,526件	○	高齢化・人口減少の影響があり、目標値の達成は難しかった。
	目標 2	ミニデイサービス設置ヶ所	17ヶ所	H25	24ヶ所	H29	34ヶ所	31ヶ所	R1	38ヶ所	○	ミニデイサービス設置ヶ所は目標値を達成できた。
	目標 2	秋田由利牛流通頭数	167頭	H25	200頭	H29	216頭	225頭	R1	215頭	○	秋田由利牛の要件を満たす牛の割合が伸び悩んだため、目標値の達成は難しかった。
	目標 2	鳥海りんどう出荷本数	3,802千本	H25	4,500千本	H29	4,821千本	6,000千本	R1	4,919千本	○	毎年、順調に本数は伸びているものの、最終年度目標値の達成は難しかった。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1											
	指標 2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
特別措置を適用して行う事業	φ75～200		計画	中間年度(H29)	最終実績	今回の整備により農業集落における生活環境の改善と公衆衛生の向上が図られた。また、一級河川石沢川及び用排水路等の公共用水域の水質悪化を防止し、生活環境の改善及び公衆衛生の向上も図られた。今後は接続率を向上させるために水洗化の普及活動に積極的に取り組む。						
	農業集落排水施設 マンホールポンプ		3,618m	3,536m	3,536m							
	単独整備量		12ヶ所	12ヶ所	12ヶ所							
	浄化槽（個人設置型）		1,016m	897m	897m							
その他の事業	公共下水道事業		335基	162基	229基	浄化槽を定住状況に応じ効率的に設置したことにより管路整備が困難であった地域について快適で衛生的な生活環境の向上につながった。						
	CATV事業（由利本荘市ケーブルテレビ）		地域情報の発信と気象情報、緊急情報等の共有化			期間限定加入金無料キャンペーンや新築住宅加入金無料キャンペーンを実施中である。引き続き加入促進を実施し、地域情報の発信と緊急情報等の共有化を図る。						
	地域創造型ミニデイサービスの実施（自治会、地域協力が運営）		地域集会所を利用したミニデイサービス等			由利本荘市地域ミニデイサービス活動支援交付金等を実施中である。引き続き高齢者の孤立化の解消と快適な自立生活の推進を図るために、地域集会所等を利用し地域における市民が共に助け合い支え合う集いの場を創出する。						
	地域ブランドの確立（秋田由利牛、鳥海りんどう等）		地域ブランドの確立等で圏域全体を活性化させる			「秋田由利牛」は平成19年3月に、鳥海りんどうは「秋田鳥海りんどう」として平成30年2月に地域団体商標登録が行われ、地域ブランドの確立が進んでいる。引き続き、生産基盤強化と生産拡大により更なる産地化を進めて、圏域全体を活性化させる。						
計画外で独自に実施した事業	浄化槽（個人設置型）		浄化槽の整備を行う。			公共下水道処理区域及び集落排水事業等の整備区域を除く個別処理区域においては、嵩上げ補助金を実施中である。引き続き嵩上げ補助金を実施し、汚水処理人口普及率の向上を図る。						
④評価方法	由利本荘市が必要な実績調査等を行い、評価を行った。											
⑤中間評価の公表方法	由利本荘市のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、汚水処理整備交付金を活用した管路整備と浄化槽整備を一体的に実施し、汚水処理人口普及率の最終目標値89.7%を上回る90.3%となり、生活環境の向上が図られた。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑整備が進んでおり、汚水処理人口普及率は目標を上回る成果を得た。今後は接続率向上及び浄化槽整備基数の増を図るために、PRしていき、引き続き公共用水域の水質保全、生活環境の向上を目指し、自然と調和した快適なまちづくりを実現し、定住を基本とした安心して暮らせる自立した社会構築の構築による地域再生を図る。											